

6月に入り、初夏を思わせる陽気の日が増えてきました。北海道の一年の中でも、今は最も過ごしやすく、子ども達にとっても園外での活動が一段と楽しい季節です。

園庭の花壇には、色とりどりの花が咲き、子ども達の目を楽しませてくれています。そして、花を楽しんでいるのは子ども達だけではなく。蝶やてんとう虫、名前も知らない小さな虫達もたくさん集まり、昆虫好きの子ども達にとっては、まるで小さな探検広場のようです。花壇の前にしゃがみ込み、「いた!」「こっちにもいる!」と夢中になって観察する姿は、この季節ならではの微笑ましい光景ですね(笑)

花の美しさ、虫との出会い、風の心地よさ… 初夏の園庭には、子ども達の好奇心をくすぐる宝物がたくさんあります。

園庭の花壇は、南区真駒内にあるお花屋さん「百々屋」さんが、季節ごとに綺麗なお花を用意してくれます。

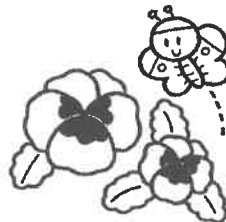
「百々屋」さんは、花の種類がとても豊富で、店主さんのセンスが光るお花屋さんです。

色合わせや花の組み合わせにも一味違う魅力があり、見ているだけでも季節の楽しみ方が広がります。

ガーデニングに興味のある方はもちろん、「庭や玄関先に少し季節の彩りを添えたい」とお考えの方にもおススメです。

お近くにお出かけの際は、ぜひ一度足を運んでみてはいかがでしょうか。

きっと、暮らしの中に花を取り入れたいくなる素敵な出会いがあると思います。



🍷 「白ゆりマルシェ」出店者募集 🍷

夏休み期間中に行う「白ゆりマルシェ」は、白ゆり幼稚園「夏の恒例行事」です。今年は、**7月25日(土)**に開催します。

昨年は、バター香る スコーンや焼き菓子、フワフワのクレープ、揚げたてサンドに春巻き、シャキシャキの新鮮野菜、手作り雑貨とアクセサリー、アロマのワークショップ、英語と科学がコラボしたワークショップ… etc たくさんの地域に愛されるお店に出店していただきました。

現在、出店していただける方を募集しています。ぜひお知り合いで出店していただける方がおりましたらご紹介下さい。もちろん、在園児の保護者の方やママ友グループで、手作り雑貨やアクセサリーなどを出店していただくこともできますよ(笑) 詳細は、副園長のまさこ先生までお問合せ下さい。よろしくお願い申し上げます。



6月30日(火) *雨天の場合予備日7月2日(木)に「親子遠足」を行います。
場所は「円山動物園」です。詳細は次号の「げんきだより」にてお知らせします。

早期教育ではなく、子どもの「考える力」を育てるために…

白ゆり幼稚園では、子ども達の「成長を促す学びの時間」として「読み書き数字」の活動にも取り組んでいます。その土台となっているのが「ヨコミネ式教育メソッド」です。この活動は、早期教育や小学校の先取り学習を目的としたものではありません。幼児期の子ども達にとって大切なのは、「どれだけ早く文字が読めるようになるか」「どれだけ早く計算ができるようになるか」ではなく、その過程で育まれる「学ぶ力」です。子ども達が自分で考え、集中し、最後まで取り組み、「できた!」という喜びを感じるための大切な活動です。

白ゆり幼稚園では、「読み書き数字」を全員一斉に同じタイミングで始めることを目的にしていません。子どもには、一人ひとりの発達の段階があり、興味の向き方、集中できる時間、理解の速さも違います。

ある子は文字に興味を持ちどんどん先に進みたがる、別の子は色塗りや線をなぞることからじつくり時間をかけて取り組む… どちらが良い悪いではありません。それがその子の育ちのペースであり、大切な個性です。

進みが早い子が「できる子」で、時間がかかる子が「できない子」ではありません。子どもの成長は決して横一列ではないのです。花にも、早く咲く花、ゆっくり根を張ってから咲く花があるように、子ども達にもそれぞれの咲き方があります。早咲きだけが名花ではありませんね。

大切にしているのは、「できる・できない」を評価することではなく、「今、その子にとってちょうどよい経験になっているか」ということです。まだ集中して座ることが難しい子に、無理にプリントをさせても、それは学びではなく苦痛になってしまいます。鉛筆を持つ力が十分に育っていない子に、いきなり文字を書かせても、自信をなくしてしまうことがあります。

だからこそ、白ゆり幼稚園では、その子が楽しく活動に向かえるか、短い時間でも集中して取り組めるか、できることから始められているかを大切にしています。できないこと、難しいことを無理にさせる時間ではありません。まずは、その子にとって「できること」から始めます。

できることは面白い。面白いことは繰り返す。繰り返すと上達する。上達すると、次のことに挑戦したくなる。この流れこそ、幼児期の学びにおいて大切な道筋です。

読みの活動では、文字の形に親しむことから始まり、少しずつ言葉や文章の世界へと広がっていきます。書く活動では、線を引く、なぞる、形を整える経験を通して、鉛筆の持ち方や筆圧、手先の使い方が育っていきます。数字の活動では、数字を覚えるだけでなく、数の感覚や順番、比べる力、考える力を育てていきます。

これらはすべて、小学校入学のためだけに行うものではありません。自分で考える力、話を聞く力、最後までやり抜こうとする力、気持ちを切り替える力、間違えてももう一度挑戦する力を育てるための活動です。

幼児期の子どもは、気分が左右されることもあります。昨日できたことが、今日はやりたくない日もあります。友達が先に進んでいるのが気になったり、思うようにできず悔しがったりすることもあります。しかし、そうした経験の中で、子ども達は少しずつ自分の気持ちをコントロールする力を身に付けるのです。

保護者の皆さんにお願いしたいのは、お子さんの進み具合を他の子と比べないでいただきたいということです。幼児期の学びは、競争でも、順位づけでも、能力判定でもありません。大切なのは、お子さんが安心して活動に向かえているか、少しずつ自信を持っているか、学ぶことを嫌いになっていないかです。

読み書き数字は、子ども達を早く勉強のできる子にするためのものではありません。子ども達が、自分で考え、自分で挑戦し、自分でできた喜びを感じるためのものです。

白ゆり幼稚園では、一人ひとりの育ちのペースを大切にしながら、「できた!」という小さな喜びを積み重ねていきます。その一步一步が、子ども達の自信となり、意欲となり、未来へ向かう大きな力になっていくと信じています。